

【技術文書とはコミュニケーションの手段】

1. 技術文書とはコミュニケーションの手段

技術士に求められる資質能力（コンピテンシー）として8項目があります。その中の1つが**コミュニケーション**です。以下が**コミュニケーション**の定義です。

- ・業務履行上、口頭や文書等の方法を通じて、雇用者、上司や同僚、クライアントやユーザー等様々な関係者との間で、明確かつ効果的な意思疎通を行うこと

「口頭や文書等の方法を通じて・・・意思疎通を行うこと」の内容から、**技術文書とはコミュニケーションの手段**であることがわかります。このことは、技術士ではない技術者も認識する必要があります。これらの技術者も、日常業務の中で技術文書によるコミュニケーションを行っているからです。

会話によるコミュニケーションでは、言葉を介して話し手と聞き手の間で意思疎通を図ります。これに対して**技術文書によるコミュニケーション**では、**文字、写真、図**などを介して書き手と読み手の間で意思疎通を図ります。

2. 仕事を円滑に進めるためには

技術文書によるコミュニケーションでは、例えば、「君の書いた会議の資料はわかりにくい」と言われたら会議が円滑に進みません。会議の出席者（読み手）に会議の資料の内容が明確に伝わらない（＝会議の資料がわかりにくい）からです。つまり、会議の資料の作成者（書き手）と会議の出席者（読み手）との間で会議の資料（技術文書）によるコミュニケーションが成立しません。

「君の書いた会議の資料はわかりやすい」と言われることで会議が円滑に進みます。読み手に会議の資料の内容が明確に伝わる（＝会議の資料がわかりやすい）からです。つまり、書き手と読み手との間で**会議の資料（技術文書）によるコミュニケーションが成立**します。

このように、技術文書によるコミュニケーションでは、**コミュニケーションが成立する技術文書（内容が明確に伝わる技術文書）**を書くことで仕事上の関係者との間で仕事を円滑に進めることができます。